

# シンポジウム「南海トラフ巨大地震に備える」(主催:豊橋技術科学大学)でパネル展示(平成25年12月12日)

- 穂の国とよはし芸術劇場「プラット」アートスペースで開催された、シンポジウム「南海トラフ巨大地震に備える～東三河地域の防災力向上に向けて～」で、中部整備局は、防災に関するパネル展示を行いました。
- 本シンポジウムは、防災力向上に長年取り組まれた専門家の話を伺うとともに、東日本大震災における成功例や教訓、東三河地域の現在の取り組みについて紹介し、近い将来に発生が懸念されている南海トラフ巨大地震に備え、東三河地域の防災力を効果的に向上させる方策について、パネルディスカッション等が行われました。

豊橋技術科学大学  
安全安心地域共創リサーチセンター  
防災・日本再生シンポジウム

## 南海トラフ巨大地震に備える

～東三河地域の防災力向上に向けて～

～プログラム～

13:00～13:10 開会挨拶 榊佳之(豊橋技術科学大学長)

13:10～13:40 センター事業紹介 齊藤大樹(安全安心地域共創リサーチセンター長)

**基調講演**

13:40～14:40  
久田嘉章氏(工学院大学建築学部まちづくり学科教授)  
「地域特性に応じた地域連携による震災対策」

**話題提供**

14:50～15:20 田代邦幸氏(株式会社インターリスク総研 BCM 室 上席コンサルタント)  
「企業におけるBCM実践例と教訓」

15:20～15:40 金子鴻一氏(公益社団法人東三河地域研究センター 常務理事)  
「立地企業が協働で取り組む明海地区BCP」

15:40～16:00 遠山繁氏(御津臨海企業懇話会会長/株式会社エックム 愛知工場長)  
「御津臨海地区の取り組み」

**パネルディスカッション** 「東三河地域の防災力向上の方策を探る」

16:10～17:00 パネラー 久田嘉章・田代邦幸・金子鴻一・遠山繁・齊藤大樹  
モデレーター 増田幸宏(安全安心地域共創リサーチセンター 副センター長)

17:00 閉会挨拶 松本博(建築・都市システム学系長)

総合司会 中澤祥二(安全安心地域共創リサーチセンター 准教授)

\*終了後、17:30～「プラット」内で意見交換会(会費3,000円)を開催します。

日時:2013年12月12日(木)13:00～17:00  
会場:穂の国とよはし芸術劇場「プラット」アートスペース(豊橋市西小田原町123番地)

参加費:無料(定員:200名)

申込方法:裏面の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはメールにてご連絡ください。  
申込先:安全安心地域共創リサーチセンター FAX:0532-44-6568 / E-mail: carm@office.tu.tac.jp  
問い合わせ:0532-81-5157(担当:穂菊)

参加費無料  
定員:200名  
(事前申込制)

主催 豊橋技術科学大学 安全安心地域共創リサーチセンター 共催 一般社団法人国立大学協会・東海圏減災研究コンソーシアム  
後援 国土交通省中部地方整備局・経済産業省中部経済産業局・豊橋市・蒲郡地区委員会防災部会・御津臨海企業懇話会・明海地区防災連絡協議会  
神野地区防災自治会・田原臨海企業懇話会・東三建設業協会・自然災害研究協議会中部地区部会・環境共生技術研究会



企業関係者や地域住民など多くの方が参加されました



防災に関するパネル展示の様子